



鴉の声

季節は確実に移ろい、長い冬のトンネルをまさに抜けようとしています。春一番・二番とも強風と雨の洗礼を受けて、各地に被害ももたらしております。今年の桜前線は例年より早いであらうと予測されていますので、三寒四温のなかで急速に暖かくなり、初夏を思わせるような陽気を迎えるのではないかと思います。寒暖差が大きいと体調を崩しやすいので、気分を付けながら毎日を送りたいと考えております。

三月というと、もう一つ会計年度を迎えるに当たり、皆様方も大変お忙しい毎日をご過ごしておられるのではないかと思います。会社や組織を動かしていく資源として、「ヒト・モノ・カネ」とよく言われますが、時間も大切な資源の一つで、自分にはなかなか実践出来ませんが、オー

ストラリアの経営学者、ピーター・ドラッカーの言葉に、「時間は希少な資源である。時間が管理できなければ、他の仕事も管理できない。」というものがあります。言葉で表現するのは簡単ですが、実践となると、少しずつ努力をして行かなければと思っております。

さて、本会も例外ではなく、新年度を迎えるに当たり、保育所の増設や、福岡・東中島の小規模多機能ホームの開設等、新しい仕事も控えておりますので、準備をしっかりと整えながら、進めて参りたいと思っております。既存の事業の充実や、新設の施設の運営に欠かせない「人の確保」については、大きな課題であり、鋭意努力をしておりますが、もう少しのところでありますので、多くの皆様方のお力添えをよろしくお願い申し上げます。幸い、本会は毎年新人の方が入職して頂き、職員の年齢階層のバランスが取れている

ことは大変有難いことであると感謝をしております。

入職して頂いた職員さんには、新人研修だけではなく、配属された職場のなかでも、温かく見守り育てて参りたいと思っております。新人職員の採用に当たり、お骨折りを頂いた方々には、この紙面をお借りして、改めて感謝申し上げます。これも偏に本会の活動をご理解頂き、日頃から応援を下さる皆様方のおかげであると感謝するとともに、役職員一同、これからも一層の努力・精進をして参りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

(総合施設長 齊藤 操)

ときがね な ひととき

※法人内の事業所の日々の様子をお知らせします。

鴛嶺の家（高齢者・障害者）

寒さもやっと少し緩んできたようですが、まだまだ寒い日が続きますね。河津桜の見頃の時期も、もうすぐです。利用者の方達とお花見に行ける事を楽しみにしています。今回は、ある日の昼食のお話です。いつもはキッチンで調理し皆様の所へ配膳しています。ですが、この日は鉄板焼です。ホットプレートを用意して、皆様の前で焼きます。お好み焼き、野菜のバター焼き、ウインナー等。「早く食べたいわ♪お腹空

いた〜」と声が聞こえてきます。I職員は、いつの間にか鯉口シャツに着替え、まるで屋台の様です。いざ生地を鉄板に流し込みます。まだまだ生の生地をいじってしまふI職員。分かれますよー、いじりたくなりますよね。そこにすかさず「まださわっちゃダメ!!」と茶々が入りました。まるで親子のようなやり取りに周りは大笑い。良い匂いがしてきて、皆様も待ちきれない様子。熱々のお好み焼きを切り分け、皆で頂きます。いつもより食欲が増しおかわりして下さる方もいらつしやいました。たまには、こんな昼食も良いですね♪楽しんでいただけ良かったです。



鴛嶺の家（児童）

暦の上では春ですが、各地では積雪が続いていますね。東金も雪が積もり子ども達も雪遊びをしました。ある女の子は雪の事を「泡!」と言い、怖がりながらもスタッフと雪の感触を楽しみました。

：皆さんに嬉しいお知らせがあります！鴛嶺の家（児童）に新しいお友達が2人増えました！1人は来所すると、紐とアンパンマンの絵本を必ず自分のそばへ。紐をパタパタさせながら楽しそうに見ています。アンパンマンのように、いつもほっぺが真っ赤でカワイイんです。2人目はクリクリお目々のイケメンくんです。ふっとした時に見せてくれる笑顔にスタッフはメロメロ💎これからよろしく願います！

さて！2月と言えば節分があります。スタッフが鬼役になり、子ども達が豆を投げまし

た。今年は泣く子は居らず、ちゃんと投げています。みんな豆が好きなようで歳の数以上に食べていました。

また、外出もしました。今回は鎌取まで行き、ゆみくる内で昼食を食べました。電車に乗るのを楽しみにしている子が多く、目をキラキラさせながら目的地までお友達やスタッフと会話をして過ごしました。駅に着いたらゆみくるへ：それぞれが食べたいものを注文しておいしそうに食べていました！次回はどんな所へ行くのかな？子ども達と同じくらい楽しみなスタッフでした。



ぼけつと

公園の梅の花が咲きブランコに乗っていると梅の香りが漂う季節となりました。

2月のイベントといえばバレンタインデー！ケーキにホイップをたくさんのせたデコレーション。色気よりの食い気の子どもたちです。

2月18日は山武市のスポーツプラザでポッチャという大会を見学させて頂きました。開催している方のご好意で私達も参加させて頂くことが出来ました。パラリンピックに出られている方を見つけウキウキのKくん。Kくんは小さい頃からぼけつとに通っていて、私達はついつい車いすを押してしまっていたけれど、ポッチャを通して自分で移動して位置を確認したり熱心に励む姿を見て成長を感じました。ポッチャをみんなで体験し

てみて難しい顔や集中した顔などいろいろな表情を見ることができ、参加できて良かったなと思いました！そして、最近のぼけつとの流行りといえば合唱♪学校で送る会の練習をしている為、学校帰りの車の中では、「ありがとうの花」など卒業に向けてみんなで大合唱です！今年度も残り1ヶ月!!3人の子ども達がぼけつとを卒業するので、残り1ヶ月を思う存分楽しんでくれたらと思います。



サポートセンタースピリッツ

梅の花が咲き、いよいよ春がそこまでやってきました。支援をしていると、つい先日までは霜柱が立っていたり、氷を張っていた田んぼがいつの間にか消えて草花などに姿を変えています。この時期は移動支援中に、卒業式にいく人や、退職や異動をされる方が花束を持ってバスや電車などの公共交通機関に乗られる姿を見かけられるのですが、そうした光景を見ると季節が変わっていくのを実感します。春の訪れというのは嬉しいこともありますが、悲しいこともあり複雑な思いを感じながら支援をしています。

この時期に1つ気を付けなければならぬのは、路肩のぬかるみです。これから卒業や彼岸のイベントに加え、お花見などで盛り上がるが多くなりますので、思わぬ転倒による怪我にはくれぐれもお気を付けて

ださい。

最後に、花粉症でマスクをしている人をこの時期から見かけます。鼻水や鼻づまり、くしゃみ等、一般的に風邪の症状とは似ていますが風邪は1週間程度で治るのに対し、花粉症は症状にもよりますが2、3か月続くこともあります。できる限り早めに治療をして楽しく過ごしていきたいと思いますね。



平昌オリンピックは盛り上がりを見せました。今回は時差がほとんどなかったので、観戦しやすかったですね。日本人選手が出場する種目は注目され、メディアの放送がありますが、そうではない競技は競技自体知らないとか、ルールがわからないなどなかなかオリンピック全体を把握しきれません。でも、たくさん感動がありました。どの選手も自分一人だけではなく、応援してくれた人、支えてくれた人への感謝の言葉が聞かれたのが印象的でした。自分が今ここにあるのは多くの人の支えがあるから、そしてそれを大切だと思えることはとても素晴らしいと感じました。3月は多くの人が転換期を迎えます。するとでも新生活に向けて色々動きがあります。卒業後、新しいサービスを利用される方、就職が決まっておられる方など

様々ですが、転換期ではない方でも3月は年度の終わりと新しいこともあり、ひとつの区切りを迎えます。何かと忙しいと感じる事が多い月ですが、焦ってミスをしたくないよう、余裕を持って行動しようと思います。何をすることも体が資本、健康管理も忘れずに。

庭の梅の花も咲き、だんだんと暖かさを感じるようになってきましたね。この冬も寒さに負ける事なく毎日散歩に行き元気づけたいのみなさんです。

先日、ふれあいセンターに飾る作品の製作をしました。みなさんにとってはお久しぶりの製作、現在勤務しているスタッフにとっては初チャレンジの事です。しかし、残念ながらセンスのないスタッフ：「どうする?」「と困惑した状況での製作スタート!!「どんなの作る?」と声をかけたところHさんから「春!!」の声。寒さも和らぎ春らしくなってきたことと、卒業と入学のシーズンも間近になり「桜」に決定しました!!そうと決まれば早速必要な道具の準備です。濃淡の違うピンクの折り紙をちぎる人、ハサミで花の形を切りぬく人、わが道をゆく!モードで好きな線を切る人などなど、思い

思いの桜を作り、貼り付けをして1週間ほどで完成しました!!

完成した作品を携えふれあいセンターへ^(*)当日は寒さも緩んで暖かく、健康の為にと散歩しながらのお出かけとなりました。初めは、みんなこの長距離(普段歩かないであろう距離)だったので大丈夫かな?途中でへこたれる人がいるかな?と心配だったのですが、職員の心配もなんのその。しっかりと歩き切り、ふれあいショップで一息つくことが出来ました。皆さん達成感があったようで、お迎えに来てくれたお母さん達に「歩いた!!」と誇らしげにお話。「また行こうね」に笑顔で頷いてもらえ、嬉しさを感じるひと時でした。



ハンドワーク(就労継続支援B型)

ハンドワーク就労では、去年の秋にクラフトバックの注文をいただき、以来毎日コツコツとバック作りを進めています。今回はちょっと数が多いの注文！さて間に合うか!? 以前から交流のあったお方から「プレゼント用に作ってほしいんです」とお声をかけて頂き、嬉しさを噛みしめながらさつそく幅や高さといったサイズ、希望の配色や価格の相談と調整を行いました。プレゼントを渡す方を思い浮かべながらの提案は考慮すべき点もあり、なかなか難しく、しかし楽しいもので、どういう色が、どういう形が好まれるのか、見た目だけでなく、使っても喜ばれるものを…と、実現したい理想と、何処までできるかの現実には一同今も四苦八苦しています。(^^)「試行錯誤を数度繰り返し、最終的には5パターンの配色と、プラスして手作りの

小箱を作る事に決まりました。それからは土台作りから、サイズ(※A、※)の違いないように調節をしつつ製作しています。今回は数々が数なので色別で担当を分け、集中して作る事になりました。各々が同じ配色のバックを製作しているの、どれが誰の作ったものなのか分からなくなることもしばしば。(^^)「作ったご本人も、担当した職員も首をかしげて「誰(が作ったん)だっけ?」それでも中には「この編みあがり方はAさんのかな?」「これはBさんの!」という声がかかることも。癖や個性で判断するまでには、まだまだ道は遠そうだなあと痛感した今日この頃でした。約束の4月末まであと少し!集中してより良い作品をお渡しできるよう頑張っていると思います!!



ありさ(就労継続支援B型)

あつという間に2月が過ぎていきました。まだまだ寒い日はありますが、だんだん暖かい日が増えてきました。春眠暁を覚えずではないですが、朝起きられても昼食後に満腹感とほんわり暖かさで午後の仕事を眠気と闘いながら行っているメンバーもいます。

就労支援B型においては工賃向上が求められる昨今ですが、「楽しく作業する」だったありさも、「やりがいや責任を持つて仕事へ向き合う」方へと少しずつ変わってきています。そんな中、さらなる作業効率UPに繋がればと、「NHK歳末助け合い赤い羽根共同募金」を利用してPC2台の購入をさせていただきました。皆様のご支援ご協力のもと、自分達の暮らす地域で生きがいを持って安心して仕事や生活をしていけるような、そんな場

所にしていきたいと思えます。さて、久々ですが最近の言い間違い・聞き間違いをご紹介します。美空ひばりさんの「川の流れるように」を、作業中にふと歌いだしたMさん。「しらす、しらす、歩いてきた:」ちっちゃいお魚が2尾歩いてくる姿を思い浮かべてしまいました。(^^)



五根の家（グループホーム）

節分が過ぎましたが、まだまだ寒い日が続いております。グループホームに入居されている皆様はインフルエンザやノロウイルスにかかることなく、元気に暮らされております。しかし、新年に入り、1人のお年寄りが97歳で逝去されました。元々は、病院を退院され、五根の家の小規模を利用し、その後、グループホームに入居された方です。とても優しく、何事にも快く応じて下さり、いつも感謝の気持ちを忘れない方でした。12月中旬より、だんだんと食が細くなっていきました。ご家族の希望で五根の家での看取りを希望されたので、訪問診療の先生や訪問看護師、五根の家の看護師と協力をはかりながら対応致しました。しかし、徐々に元気が無くなっていき、その姿をみるとどこか寂しい、母を亡くするような気持ちになりました。

た。スタッフも出来る限り対応し、ご家族よりご葬儀の際に感謝のお言葉をいただきました。ご冥福をお祈り致します。

私は椎間板ヘルニアにより、昨年、入院し手術をしました。ベッドにて1人で休んでいると寂しい気持ちになりました。特に手術後には拘束され薄暗い部屋にいると恐怖を感じる程でした。五根の家で、1人でお休みになつていらっしゃるお年寄りの方も、私と同じような気持ちを感じているかもしれません。ドアを開けて入室する際など声を掛け、安心して過ごしていただけるよう心掛けたいと思います。

五根の家（小規模多機能ホーム）

立春とは名ばかりで、まだまだ厳しい寒さが続いておりますが、あちこちで梅の花が咲いているのを観ると春の訪れを感じることが出来ます。

1月の時点で4名のお年寄りが体調を崩して入院されていました。顔なじみであるお年寄りのKさんは『あの人、大丈夫なの？』とよく入院されている方々を気遣い心配して下さいました。ある時、『入院されている人達に』と千羽鶴を折る事になり、折り紙に慣れていないスタッフがお年寄りに折り方を教えてもらうなど、みんなで協力して作りました。Kさんは自宅から折鶴をこしらえて持参して下さいました。

千羽鶴というわけにはいきませんが、心のもった折鶴を紐でまとめ、完成いたしました。その後、2名の方が退院され、退院後みんなで作った折鶴

を観て頂きました。退院された方のうち、1名は昨年の8月に脳梗塞で倒れられてから何度か退院の調整を行いましたが、退院後すぐに体調を崩して再び入院となったり、退院直前に体調を崩して延期になっていました。ですが、2月始めによく退院の運びとなりました。しかし、3月の始めに再び急変され救急搬送しましたが搬送先で逝去されました。退院後、ご家族より『病院の時と表情が違う』とお話を頂いたのが今でも心に残っています。スタッフ一同ご冥福をお祈り申し上げます。



今回は、こころんの就労支援についてお話ししたいと思います。この仕事に就いて、早1年数カ月が過ぎました。就労支援員の仕事は多種多様な相談者の中で就職を希望されている方（現在失業されている方、勤務中だが勤務先変更希望者、ひきこもりの方）への就労支援です。まず面談を行い失業前の仕事内容や、経験年数、希望の勤務条件を聞きます。面談を重ねてその人の持つ能力と何が苦手なのかを見極めます。どういう身だしなみで時間通りに来所出来るか、ということを知るのも大切です。相談者が紹介した就職先企業を希望されたら、本人と企業の間に入り、例えば「コミュニケーションは少し苦手だけれど教わった仕事はまじめに取り組んできた方です。」等履歴書で伝わらない部分を補います。面接の機会をいただけたら自信

が付くまで練習を行い、安心して気持ちで面接受験に臨んで貰います。面接受験が終了し数日後、可否の連絡が受験者と事務所に入りほとんどの受験者は合格内定します。企業に勤務し、仕事に就いた後仕事上や人間関係において悩んでしまう方、頑張りすぎて体調を崩す方もおられるので、ご本人と企業両方の話を聞き仕事を続けていけるよう支援しております。

日に日に厳しい寒さも和らぎ、春の陽気を感じられるようになりました。いくりんの子どもたちは、ますます元気いっぱい！毎日お散歩へ行き、公園遊びを楽しんでいます。最近も伸びて、大きな遊具に挑戦する子も出てきました。腕や足の力を使って、一生懸命登ろうと頑張っているところです。

さて、先月は豆まきをしました。豆まきといっても豆を投げるのではなく、保育士の作ったオニにカラーボールを当てる的当てゲームです。「オニは〜そと〜ふくは〜うち〜！」と、元気よく声を出しながら、ボールを投げて遊びました。そしてお昼は、調理員さん特製のオニランチ♪かわいいオニさんに子どもたちも大喜び。今年もみんなが健康に過ごせますようにと、美味しくいただきました。

また、2月後半には、不審者

対策の避難訓練を行いました。保育中に知らない人が入ってきたという想定で行いました。保育士がホイッスルを吹き、危険を知らせます。突然の出来事に驚き、泣き出してしまった子もいましたが、全員が奥の部屋まで避難することができました。万が一の場合に備え、繰り返し訓練を行っていきたいと思います。

今年度も残りわずかとなりました。1日1日を大切に、子どもたちの成長を感じながら、毎日を思いっきり楽しんでいきたいと思えます。



ゆーすぽーと

今月のトピックは何はさて置き、利用者の中学3年生5人が公立高校の前期選抜試験にそろうって合格できたことだ。彼らを取り巻き応援し続けてくれたたくさんの方が喜び祝福してくださった。家族や学校の友人・先生達以外にもたくさんの方達に心配してもらい、心からのエールを受けた5人はいっぱいの幸福感に包まれたと思う。

今5人は前期に失敗した友に心を寄せ、そして、春から始まる高校生活に備え今まで通り淡々と学習に取り組んでいる。そんな彼らには、高校生になったら自分たちは「ゆーすぽーと」に来ることができるだろうかという新たな心配が芽生え、矢継ぎ早の質問で攻めてくる。来期の構想が白紙状態のため、返す確かな言葉がなく、不安を増幅させているようで身につまされる思いである。見守り続ける責

任はあるのだが、その方法をどう描くか思案だ。

何らかの別れを覚悟している後輩達も寂しさを募らせ、「先輩達は高校生になっても来るんですか」などと、さぐる言葉がしばしば口をついて出てくる。いつしかもう一つの家族のような一体感を感じてきているのだ。後輩達にかける言葉も慈しみをもつてかけられている。現職の先生達による受験対策用の特別講義を受けて、同士を感じた中2の子達は尚更かもしれない。残された時間を可能な限り共にという思いを、肩寄せあつて一つのテーブルで学習する姿に、食事の後片付けの共同作業に、誘い合つて楽しそうに一緒に帰宅する姿に垣間見ることができる。

ひなたぼっこ

春の陽気が待ち遠しい今日この頃、皆様いかがお過ごしでしょうか？先日、利用者の方のお迎えに伺ったところ、庭先に

きれいな桃の花が咲き始めていました。春の訪れを感じる事ができ、心が温まるひと時でした。

ひなたぼっこ・椿森は、今年に入ってから利用される方も増え、様々な出会いに感謝し、充実した日々を送っております。

嫌悪感を露わにしている利用者の方への関わりをどうするべきか、不安な気持ちで毎日を過ごしていらつしやる方への支援をどうするべきか、様々なケースを職員で話し合い、悩みながら、何がその方にとって良い支援なのか？その方に寄り添った介護とは何か？を模索しながらお一人お一人に向き合っております。その中で、初めは抵抗を感じていらした利用者の方が、徐々に私達に慣れて受け入れて

下さった時の喜び、固い表情で来所されていた方が素敵な笑顔を見せて下さった時の喜び等、様々な想いを職員間で共有しながら、『ひなたぼっこ・椿森らしさ』が出来上がっていくのだと思っております。

2月のサロンは、和柄の布や竹を使つてのひな人形作りを開催致しました。ご近所の方々も参加して下さい、「地域に介護相談ができる場所があること、事業所の中が見える事で安心が得られる。」とのご意見を頂きました。率直に嬉しかったです。サロンを定期的に開催することで、地域の方々からより一層のご理解とご支援を頂けたら幸いです。3月のサロンは大福作りを予定しております。おしゃべりをしながら、楽しいひと時を過ごせたらと思っております。そして、桜の開花と利用者の方々との千葉公園でのお花見を楽しみに、春を迎えたいと思います。

「NHK歳末たすけあい助成決定！（ノートPC2台）」

千葉県共同募金会様から、「平成29年度（第67回）NHK歳末たすけあい」の配分として、ハンドワークとありさに、ノートパソコン2台を助成頂くことになりました。

大事に使っていききたいと思います。ありがとうございます。



企画・イベント情報

ヨガサロン

健康管理、仲間づくりにヨガを始めませんか？

旧道の岸本薬局の斜め向かいにある「ありさ」の2階で開催中。

開催日 4月4日（水）

4月18日（水）

※興味のある方は、ご連絡下さい。

ありさ（50・0362）

子育てサロン

日頃の子育てについての困りごとや、情報交換など保護者同士で話をしたり、学んだりする場です。

開催日 平成30年4月16日

10時30分～12時

会場 鶴嶺の家（児童）

東金市東金425・2

※興味のある方は、ご連絡下さい。

ほけっと（50・1081）

穂垂るの会

介護している方々が集まって日々の苦労話等を気軽に本音で話し合う会です。

日時：4月12日（木）13時半～
会場：ふれあいセンター

2階 創作室

参加費：200円

主催・連絡先：

穂垂るの会・井上

（090・7171・1701）

街CAFEさくら

「南京玉簾」

日時：4月15日（日）

13時～16時

会場：東金市東金1060・6

（サンフラワー1階内）

参加費：100円（お茶代）

問い合わせ先：

社会福祉法人ゆりの木会内

認知症カフェ担当

平賀・笠原

（50・8111）

編集後記

最近、日の入りが遅く感じこのまますぐ夏になってしまいそうな気がしています。花粉が辛い時期ですが、季節の変わり目でもありますのでお体に気を付けてお過ごしください。(S)

暖かい日が増えて来ました。コートも薄手になり、春が近づいているなあと感じます。春はお花見の季節ですね。昼間に見る桜もとても綺麗ですが、夜桜もまた違った趣きがあり、見に行きたいなと思っております。(I)



ちばしゃ通信 (Vol.41)

発行日：2018年3月15日
発行元：ちば地域生活支援舎
編集責任者：宮下・太齋
連絡先：0475-53-3630

1Day ボランティア 募集



- 子ども達に自分の“知識”や“技術”を伝えたい人
- 子ども達と一緒に学びたいと思っている人
- 子ども達に“ご飯”や“おやつ”をつくってあげたいと思っている人
- 子どもに関わる活動をしたいと考えている人
- 子ども達に「教える」とはどういうことか?を学びたいと思っている人
- 子どもに関わる仕事をしたいと思っている人
- 子ども一人ひとりに寄り添いたい!と思っている人
- 未来をつくる子ども達のために何かしたいと思っている!あなた...

あなたの“思い”と“時間”と“力”を少しだけ、
地域の子ども達のために活かしてみませんか?

- 活動日 月曜日・水曜日・木曜日・土曜日
- 活動時間 平常時 15:00～19:00
土曜日・祝日 14:00～18:00
長期休業(夏休み・冬休み等) ※変更になります。
- 活動内容 小学生・中学生への学習支援、学習の見守り・サポート、
社会体験のサポート、食事づくり、話相手など。
- 活動条件 毎月1回、2時間程度

お問い合わせ先

学び舎 ゆーすぽーと
TEL.0475-86-6543



学び舎
ゆーすぽーと



- きり株Cofe ● ●京葉銀行
- ココス ●ジョナサン
- GS ●

※東金駅より車で5分、徒歩15分